

## 事務局からのお知らせ

### 「そらべあ感想文・感想画コンクール」募集

毎日新聞社とそらべあ基金は、次代の子どもたちに地球温暖化や環境問題についての理解を深めてもらうと「そらべあ感想文・感想画コンクール」を創設しました。現在、全国の小学校を対象に、「そらべあ」の絵本と、アニメ DVD「そらべあ物語」についての感想文と感想画を募集しています。応募を希望する学級には、絵本「そらべあ」とDVD「そらべあ物語」、応募要項の3点を無料で送付します。それらを見た上で、児童個人が制作した感想文(400字詰め原稿用紙2枚程度)、感想画(A3大の画用紙)をクラス単位で送っていただきます。応募期間は4月1日～8月31日。絵本・DVDの送付希望と問い合わせは、毎日新聞社「毎日新聞社水と緑の地球環境本部」まで。

メール：myeco@mbx.mainichi.co.jp FAX：03-5208-4946

#### 各賞(1点ずつ)

##### ☆毎日新聞社賞

賞状と「そらべあグリーン電力証書」1年分(15万8400キロワット時)

##### ☆そらべあ基金賞

賞状と「そらべあグリーン電力証書」3か月分(3万9600キロワット時)

##### ☆毎日小学生新聞賞

賞状と「そらべあグリーン電力証書」3か月分(3万9600キロワット時)

##### ☆日本風力開発賞

賞状と「そらべあグリーン電力証書」3か月分(3万9600キロワット時)

\*いずれも副賞として、そらべあグッズ(クラス全員分)を贈呈。

\*消費電力は横浜市の市立小学校1校の1カ月平均1万3200キロワット時(07年度。横浜市教育委員会調べ)で換算。

## NEW GOODS

### そらべあひんやりシリーズ

湯たんぽが大人気だったほんやら堂から、今度は夏を快適に過ごせる「ひんやりシリーズ」が登場! もちろん、売り上げの一部はそらべあ基金に寄付される環境貢献型商品です。今年の夏はエアコンを切って、そらべあと一緒に地球の未来について考えましょう。



(上段左) そらべあ ひんやりお昼寝まくら ¥1,732円

(上段中) そらべあ おでこひんやり ¥1,417円

(上段右) そらべあ ひんやり抱きまくら ¥2,100円

(下段左) そらべあ ひんやり首まくら ¥1,260円

(下段右) そらべあ 足裏ひんやり ¥1,312円 (すべて税込)

製造：株式会社ほんやら堂

問い合わせ：027-384-2181(本社)

## お便り募集

そらべあへのお手紙や、そらべあとの写真を募集しています。氏名(ふりがな、ペンネーム)、住所、メールアドレス、そらべあ便りへのご意見・ご要望などを明記の上、Eメール、または郵送でご応募ください(写真は撮影したシチュエーションを明記してください)。

ホームページ：http://www.solarbear.jp/contact.php

メール：info@solarbear.jp

ハガキ：〒107-0052 東京都港区赤坂 5-2-39

円通寺ガデリウスビル 1F

ストラテジックシナリオグループ内

そらべあ基金事務局 「お便り」係



### 事務局のつぶやき



### 三立製菓

「殻までまるごとたまごパイ。」



事務局あてにお便りが届きました! とてもうれしく、スタッフみんなでじっくりと読ませていただいております。お送り下さった方々、ありがとうございました。引き続き、みなさまからのお便りをお待ちしております! さて話は変わって、発売中の三立製菓のお菓子「殻までまるごとたまごパイ。」のパッケージにそらべあが載っています。たまごの殻まで無駄なく使ったエコロジーなパイです。サクサクほろほろの食感、やみつきになります。食べ終わったらゴミの分別は忘れずにね。「殻までまるごとたまごパイ。」はスーパーやコンビニなどで発売中です。それでは、次回もそらべあ便りで会いましょう。

### そらべあサポーターズクラブ

そらべあ基金の活動は、「そらべあサポーターズクラブ」会員のみなさまのご支援により支えられています。

- そらべあ基金プレミアムサポーター： ソニー株式会社、ソニー損害保険株式会社、ソニーマーケティング株式会社
- そらべあ基金サポーター： シチズン時計株式会社、ソニー企業株式会社、株式会社ホンダソルテック、株式会社ほんやら堂、毎日新聞社
- 個人・ファミリーサポーター： 113名

(2009年6月1日現在)

そらべあ便り vol. 3

編集：加藤聡

デザイン：古谷臨

NPO 法人そらべあ基金

〒107-0052 東京都港区赤坂 5-2-39

円通寺ガデリウスビル 1F

ストラテジックシナリオグループ内

TEL：03-3584-2133 FAX：03-3586-8010



# そらべあ便り



全国に広がる  
そらべあ発電所の輪!  
—第2回そらべあスマイルプロジェクト速報—

5月3日開催 「Songs in Odaiba 2009 ~ 太陽の恵み100% 春のそらべあ祭~」の様子

www.solarbear.jp

## 第2回そらべあスマイルプロジェクト そらべあ発電所完成記念式典

太陽光発電設備「そらべあ発電所」を寄贈する「そらべあスマイルプロジェクト」。第2回目となる今回は、ソニーマーケティング株式会社との協賛により、1月からスタートしました。

応募総数54園の中から厳正な抽選の結果、群馬県富岡市の「かしの木保育園」、埼玉県さいたま市の「岩槻バンビ保育園」、福岡県北九州市の「春の町保育園」、熊本県上益城郡の「滝尾幼稚園」の4園が当選しました。

5月上旬から6月上旬にかけては記念式典を開催し、「そらべあ」の紙芝居や、“そら”と“べあ”との記念撮影を行うなど、園児たちとともに発電所の完成を祝いました。

そらべあ発電所は現在全部で7基。今年度のそらべあスマイルプロジェクトでは、さらに複数回の公募を実施し、太陽光発電設備の寄贈を行っていく計画です。そらべあがあつなぐ笑顔の輪は、日本全国の幼稚園・保育園に広がっていきます。



## そらべあ 企業サポーター探訪



「保険料は走る分だけ」のCMで有名なソニー損保。車に乗るのをほんの少しだけ減らすと、お財布にも地球にもやさしいって知ってた？  
ウェブサイト企画部の片岡さんに、どういうことか教えてもらったよ。

ソニー損害保険株式会社 ウェブサイト企画部 片岡伸浩さん

ソニー損保ではこれまで、環境ISOの取得やグリーン電力証書の購入といった環境への取り組みを行ってきましたが、当社のお客様が100万人を突破したことを機に、もっと社会に貢献するかたちでの環境活動を行いたいと考え始めました。特にCO<sub>2</sub>の増加が原因とされている地球温暖化の問題は、自動車保険が主力商品の当社にとって他人事ではありません。仮に100万人の契約者の方々が、地球にやさしいカーライフを心がければ、CO<sub>2</sub>削減の効果は小さくないはずですよ。

そこで保険契約時に予想走行距離を申告していただき、予想より実際の走行距離が短かった場合、距離100kmにつき1円をそらべあ基金に寄付する「幼稚園にソーラー発電所を☆プログラム」を始めました。この寄付金によって全国の幼稚園にソーラー発電所が作られていくのですが、お客様からすると、いつか自分の住む街の幼稚園にできるかもしれないという期待感を持つことができます。お客様にとって成果がより身近に感じられるところが、今回、わが社で社会貢献活動を行うに際し最も心がけたポイントです。

ウェブサイト担当としては、このプログラムのサイトを作るうえで、お客様に永く愛していただけるものになりたいと考えていました。そこで、お客様を巻き込むカギはやはり身近なところからということで、「ぶちECOの種（ゴーヤの種）」を保険契約の有無を問わず、希望者全員に配布しました。現在、「みんなのぶちECO」ページは、夏の日よけ対策にゴーヤを育てる人たちの、投稿コーナーとしてにぎわっています。

ソニー損保では、「幼稚園にソーラー発電所を☆プログラム」が、地球温暖化を防ぐために自分たちにもできることを考えるきっかけになって欲しいと思っています。契約者・非契約者関係なく、一人ひとりが普段のカーライフを見直すことでCO<sub>2</sub>が減れば一番良いわけですから。その結果の一部としてそらべあ発電所が作られてグリーン電力が生まれたり、そらべあを通して地球温暖化について意識する子どもが増えてくれればすごくうれしいですね。

ソニー損保 × そらべあ  
幼稚園にソーラー発電所を☆プログラム  
<http://ecology.sonysonpo.co.jp/>

(左)ウェブサイト企画部・片岡さん  
(右)同・松田さん「ソーラー発電所を贈ることはとても夢のあることなので、その夢の象徴として絶対に☆(星マーク)を入れたかったんです(笑)」



## 世界の森を守る「FSC」とは？

グリーン・ニューディールと呼ばれる環境政策を公約に掲げ、今年1月、第44代アメリカ大統領に就任したバラク・オバマ氏。その大統領就任式の招待状と封筒に、FSC認証紙が使用されました。この「FSC」という紙。最近ではコピー用紙などにも使われているので、みなさんも紙を入れるときに一度くらいは目にしたことがあるのでは？「見たことない」という人は、そらべあ便りが送付された封筒を見てみてください。木のイラストが書かれたロゴマークが見当たるはず。いったいどんな紙なのでしょう？



用紙だけでなく、箸などの木材製品にもFSC認証は広がっています。

現在、地球上では1秒間にサッカー場1面分の森林が消えています。例えばインドネシアでは、違法な伐採により、過去50年で40%の森林が切り倒されてしまいました。世界の森林が減っている状況は、私たち日本人にとって他人事ではありません。日本は使用する木材の約8割を海外からの輸入に頼っている、世界有数の木材輸入国だからです。

こうした世界の森林問題へ対応しようと、1993年、FSC (Forest Stewardship Council: 森林管理協議会) が誕生しました。FSCとは、木材を生産する森林、そしてその生産、加工等の基準を策定する国際機関です。その基準に従い、森林業者に対しては、管理や伐採が「環境に配慮しているか」「地域社会の利益にかなっているか」「経済的自立につながっているか」などのポイントを認証機関が評価します。また、認証された森から切り出された木を使う業者に対しては、他の木材と混ざらないような管理をしているかをチェックします。こうしたチェックをクリアした木材や製品には、先ほどのロゴマークが付けられ、私たち消費者に届けられるわけです。つまりFSCマークが付いた紙は、きちんとした管理された森林からできた用紙であることを保証するものなのです。

オバマ大統領のグリーン・ニューディールの1歩目は、FSC認証紙を使うことで、持続可能な森を育てている森林業者や林業家をサポートすることでした。みなさんも、世界の森林を守ることに貢献できる、FSCマーク付きの紙製品や木材製品を見つけて選んでみてください。